

再任用・再雇用職員・非常勤職員部ニュース

No. 305
2017.12.10

東京都公立学校教職員組合（東京教組）

再任用・再雇用職員・非常勤教員部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F

TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

秋季確定闘争終わる！ 月例給は据え置き。 退職手当の削減は 平均3.08%(約68.5万円) 当初提案(3.27%減)をわずかながら押し戻す。 行政系職員の時間休の取得制限撤廃！

今年の秋季確定闘争は、都側が勧告の取り扱い（月例給・一時金）、提案事項（昇給制度改悪、扶養手当の認定要件改悪など）、組合からの要求事項と退職手当の見直し（国と同程度の引き下げ）を全て一体的に「解決」することに固執し、国家公務員賃金にかかる人事院勧告の取り扱いなど国の情勢も窺いながらであったため、当初の回答指定日（11月14日）に回答を一切示すことができませんでした。都側からこの日に「結論を出すことができず、交渉を継続したい」との申し入れがあり、組合は労使自主決着をめざし「重い決断」として、回答指定日の再設定（11月21日）、統一行動の延期を決定することを余儀なくされるという異例の展開となりました。翌週に持ちこされた統一行動前日の21日の夕方、ようやく都側からの最終案が示されました。これまで提案・修正案で出していた僅かな事項以外は一発提案になってしまったということです。都労連は、苦渋の決断として提案を受け入れ未明には「妥結」「統一行動中止」が決定しましたが、妥結内容の詳細が確定したのは、22日の午前5時近くになるという、異例に次ぐ異例の展開でした。

月例給は2年連続の「据え置き」となり、当然のことながら「再任用」「非常勤教員」ともに、月例給の「改定」はありません。今回、地公法改正の施行に向けて「一般職非常勤職員」の範囲が「勤務日数・時間数が概ね常勤の半分の職員まで」と拡大されることになりました。改正地公法では、「一般職非常勤職員」にも、「期末手当が支給できる」とされていますが、既に「一般職」となっている「非常勤教員」への「期末手当支給」については、未だに言及されていません。非常勤職員全体の処遇改善に向けて次年度以降の重要課題となると考えられます。今回の妥結で「大きな成果」と言えるのは、2010年に教員と分断され、「年5日まで」とされていた、行政系職員の「時間単位の年次有給休暇の取得制限」が撤廃されたことです。これにより、事務・栄養士のみなさんも、次年度からは、年次有給休暇の範囲で自由に「時間休」が取得できることになりました。

厳しくなる情勢の中で勝ち取った成果を職場で共有しよう！

この他にも、「子どもの看護休暇」など「福祉関連要求」では、一定の前進がありました。

現在の学校現場では、「子育て世代」も急激に増加しつつありますが、多忙な日々の中で、制度改正について認識が進まない現状もあります。再任用・再雇用・非常勤職員部のみなさんが率先して、若い教職員や子育て中の人に声をかけ、成果を共有していきましょう。

秋の交流会 中野哲学堂周辺 歴史散歩

顧問(案内人) 城田 純生



六角堂（哲学堂公園）の前で

秋も深まった11月18日、今年も再任用・再雇用・非常勤教員部恒例の秋の交流会が実施されました。今年、西武新宿線沼袋駅から哲学堂までに至る神社仏閣の歴史探訪です。例年講師を務められた太田先生が御高齢になられたため、自前で講師を探していたのですが中々適当な人が見つからず、私が非力も顧みず名乗り出たところです。

当日のお天気は、前日からの天気予報によると、1日中雨、特にお昼頃は激しく降るという最悪の事態が予想されましたが、実際は雨が多少

ばらついた程度で全行程を予定通り実施できました。最後の懇親会では、アジアンレストランでネパール出身の店長さんによるお料理とアルコールで、冷えた身体を暖めることができました。更には太田先生も懇親会には参加して下さい、会は大きく盛り上がり盛會に終えることができました。

来年は、元部長の長谷川和男さんが講師を引き受け、杉並を舞台に実施することを確認して終わりました。

秋の交流会 参加者からの感想

楽しいひとときを・・・

杉並区教職員組合 石井 良子

土曜日は、交流会お世話になりました。非常勤教員1年目はわからないことばかりで、悩む事が多く、暗い日々を送っていました。先輩方の話を聞き、安心して家路につきました。来年は体調を整えて散策から参加したいなあと思います。林さん、皆様、楽しいひとときをありがとうございました。



案内人を先頭に中野の町をそぞろ歩き

中野歴史散歩 得した気分に

前部長 水谷 辰夫

西武線という電車にほとんど乗った経験がなく、「沼袋」という駅名すら、まったく知りませんでした。したがって、集合場所にたどり着くまでもちよっとドキドキの冒険気分でした。

歩き始めるとすぐ、通りの両側がせまってきたような路地風景。角を曲がったとたんにとちららに向かって進んでいるのかわからなくなる感じです。家々が連なり、すぐそばに人々が生活しているという感じが伝わってきます。私が暮らしている八王子などの多摩地域では、



明治寺 秋色の百観音の庭

その間をさえぎっています。確かに、安全という面ではそうなのかもしれませんが、通りを行く人とそこで生活している人との接点を遠ざけているそんな気がしてきます。新しくできた町ではなく、長い間人が住んで作り上げられた街角というのでしょうか、歩くことが楽しいと感じられる町になっています。

城田さんの案内で、実相院・明治寺・禅定院・貞源寺とめぐりました。ちょっと曇った天候ではありましたが、それぞれの寺の木々が秋の色となって目に映りました。ついついカメラのシャッターを切る機会が増えてしまいます。明治寺では、色づいた木々と仏像。禅定院では、大銀杏が空にまーあるい黄色の風船のような枝葉を広げていました。

午後は、皆さんとの楽しい会話とお酒、そしておいしいカレーとナン。おなか一杯となりました。

番外では、太田先生に、あと2か所ほど案内していただきました。ちょっぴり、いやいや「相当お得」な歴史散歩となりました。

紅葉がきれいに

元杉並区教職員組合 長谷川 和男

久し振りの歴史散策でした。沼袋から実相寺、百観音明治寺、貞願寺、禅定院、哲学堂を回りました。

紅葉がきれいで、歴史散策はとても楽しかったです。城田さんの講師もきちんと資料を用意してくださって楽しく学習できました。太田先生の後継者として、大いに期待されます。本当にありがとうございました。太田先生に交流会でお会いできたのが最高にうれしかったです。日程が合えば、これからも参加したいと思います。



歩いた後のおいしく、楽しい歓談

歴史あるお寺がいくつも・・・

顧問 飛田 邦子



禅定院山門 後ろに大イチョウ

西武新宿線沼袋から新井薬師寺まで散策する間に、歴史のあるお寺がいくつもあることに驚きました。矢島姓の墓碑が多い実相寺、百体の観音像が奉納されている百観音明治寺、クレーン車を使って丸い形に剪定する大イチョウが有名な禅定院、家康から江戸城曲輪内に建立を許された由来をもつ貞願寺、そして、井上円了博士創設の哲学堂。城田さんの的をえた解説で楽しく学ぶことができました。交流会には太田恵康先生も参加されて、参加者同士が近況を語り合い親睦を深めました。原発、改憲、道

徳教科書、朝鮮学校無償化、学校現場の問題等々、みなさんそれぞれの場に足を踏まえて頑張られているお話に元気をいただきました。本日はありがとうございました。

3学期の再任用・再雇用職員・非常勤教員部予定

2018年

- 1月10日(水) 第10回 常任委員会 16:00 東京教組会議室
- 1月19日(金) 教育対話集会「今、学校で何が起きているの」 18:30～
日本教育会館8階第2会議室 講師 内田 良さん
- 1月20日(土) 青年部学習会「ぼく、いいもの いっぱい～日本語で学ぶ子どもたち～」
日本教育会館2階(東京教組) 講師 善元 幸夫さん 14:30～
- 2月 7日(水) 第11回 常任委員会 16:00 東京教組会議室
「確定申告」学習会を予定
- 3月 7日(水) 第12回 常任委員会 16:00 東京教組会議室

今月号のニュースから、A4版となりました。字も今までより大きくなり、シニアには読みやすくなったのでは？